

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年12月18日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鐵道(株)	いすみ循環-1 系統:市役所大原庁舎～長者 町駅～いすみ医療センター～ 市役所大原庁舎(40.5km) 運行回数:平日・土曜とも7便/ 日	「特定少数の利用者が繰り返し 利用しているのではなく、導入 の目的を達成しているかを検 証するため、延べ乗車人数以 外のデータも確認することなど も検討していただきたい」との 評価結果を受け、市内バス乗 降調査などで市民から意見を 聞き、バス停留所の待合環境 の整備(ベンチの設置)を行 い、利用者の満足度向上を 行った。	A	事業が計画に位置付けら れた通り、適切に実施され た。	A		利用状況を注視し、必要に応 じ、運行時間帯や便数、運賃な どの見直しや改善を検討して いく。 また、今後も、広報やホーム ページ等を活用し、利用促進に 向けた継続的な啓発を実施す る。
小湊鐵道(株)	いすみ-2 系統:市役所大原庁舎～長者 町駅～房信夷隅町支店前 (24.3km) 運行回数:平日・土曜とも2便/ 日		A	事業が計画に位置付けら れた通り、適切に実施され た。	A	事業が計画に位置付けら れた目標を達成した。 目標:35,000人 実績:40,206人 分析:若者世代の利用料免 除が浸透し、公共交通利用 意識の醸成が図られ、高齢 者世代への市内バス無料 パスポート申請時の負担軽 減による効果も要因である と考えられる。	
小湊鐵道(株)	いすみ-3 系統:国吉中学校入口(旧:市 役所夷隅庁舎)～下布施～市 役所大原庁舎(15.3km) 運行回数:平日2便/日 土曜3 便/日		A	事業が計画に位置付けら れた通り、適切に実施され た。	A		
小湊鐵道(株)	いすみ-4 系統:長者町駅～国吉中学校 入口(旧:市役所夷隅庁舎)～ 市役所大原庁舎(31.4km) 運行回数:平日2便/日		A	事業が計画に位置付けら れた通り、適切に実施され た。	A		

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和7年12月18日

協議会名:	いすみ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	いすみ市地域公共交通計画 上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性:市内循環バスについては、地域内公共交通として地域内の移動と交通不便地域の解消を担う役割であるため、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費補助金)」を活用し、安定的な確保・維持を目指す。